

第6回 北海道スポーツ少年団空手道交流大会要項

主 催 (公財) 北海道スポーツ協会北海道スポーツ少年団
 主 管 千歳空手道連盟 札幌市スポーツ少年団空手道専門部
 後 援 (一財) 札幌市スポーツ協会札幌市スポーツ少年団 北海道空手道連盟
 日 時 令和4年9月11日(日) 午前9時30分より
 (9時15分審判会議)
 会 場 千歳市スポーツセンター
 千歳市真町176-2 TEL 0123-22-1111

競技規定 (公財) 全日本空手道連盟競技規定
 小学生・中学生 組手競技 団体戦・個人戦

競技方法 試合は、トーナメント制。指定の安全具を着用すること。
 拳サポーター(赤・青)、リバーシブル及び白は不可。
 ボディプロテクター、ニューメンホー(V・VI・VII)。
 男子は、ファールカップ(小学1～3年生は、指導者・保護者の判断)着用。
 シンガード、インステップガードは着用とする。
 マイ帯、赤青ひもも可とする。

【団体戦】
 オーダーは自由とする(毎試合提出)3回戦からは勝敗が決まり次第終了とする。

審判員 北海道空手道連盟公認審判員

競技種目

自由組手		
団体戦	小学生1～2年男子の部	1チーム3名 (2人でも可)
	小学生3～4年男子の部	
	小学生5～6年男子の部	
	中学生男子の部	1チーム3名 (2人でも可)
	小学生1～2年女子の部	
	小学生3～4年女子の部	
個人戦	小学生5～6年女子の部	
	中学生女子の部	
	小学生1～2年男子の部	
	小学生3～4年男子の部	
	小学生5～6年男子の部	
	中学生1年男子の部	
	中学生2～3年男子の部	
	小学生1～2年女子の部	
	小学生3～4年女子の部	
	小学生5～6年女子の部	
	中学生1年女子の部	
	中学生2～3年女子の部	
	男子幼年の部・女子幼年の部	

参加資格 北海道スポーツ少年団登録団体
 団体戦チーム 1団体制限なし
 1団体最低1チームは参加の事
 個人戦 1団体制限なし

参加料 1チーム(団体戦) 4,500円
 1人 (個人戦) 1,500円

申し込み 令和4年8月1日(月)～8月15日(月)期日。
 締め切り後は受け付けません。
 指定申込書に輸入のうえ送信してください。

E-mail : shonendan-hokkaido@karate-sapporo.com

件名に例:【〇×少年団】少年団大会申込みご記載下さい。
 参加料は下記口座へ申し込み締め切りまでに振り込んで下さい。
 ※必ず申込者に振込時のご依頼人名を記入をすること。

振込み先 北洋銀行月寒中央支店
 口座番号 4168972
 北海道スポーツ少年団空手道専門部
 事務局長 長谷川航三

連絡先 080-5591-4697(長谷川)
 抽選会 締め切り後PGにて事務局にて行う。

【連絡】 今回は北海道スポーツ少年団空手道交流大会と同日に千歳開基記念武道館において、北海道空手道連盟主催の北海道シリーズ第2戦が実施されます。つきましては少年団大会並びにシリーズ第2戦の両方に参加できるよう、下記のように可能な限り調整いたしますのでご理解ご協力お願いいたします。

AM	スポーツ少年団交流大会 小学5～6年男女団体組手 小学1～2年男女団体組手 小学3～4年男女団体組手 中学生男女団体組手	シリーズ第2戦 小学1. 2. 3. 4男女形 中学1. 2年男女形
PM	全カテゴリー個人組手	小学5. 6年男女形

注意事項

- ① 申込み後の選手変更は認めない。
- ② 空手着の左胸に所属団体名を明記すること。
- ③ 各選手は必ず傷害保険に加入していること。
- ④ 競技中に障害を受けた場合、応急手当の他責任を持たない。
- ⑤ 組手競技安全具（連盟が指定する用具を使用すること）
- ⑥ 参加団体は、審判員資格の方が居ましたらをお願いします。
- ⑦ 参加団体は、補助役員をお願いします。

競技に際しての感染拡大防止ガイドライン

※原則無観客（全空連の要請）ですが、選手1名に保護者2名までとします（厳守）。

※監督・選手・保護者は大会1週間前からの検温票を生出してください。

※感染拡大の状況によっては、大会を中止する場合があります。

※開場前に敷地内で待機する際は、密にならないよう間隔を確保すること。

※大会関係者及び大会参加者の検温を実施するため受付を設けます。

（受付スタッフはマスク着用・フェースシールド併用の事）

（検温の結果熱が37.5℃以上の者は、入場はお断りします）

※団体責任者は、選手・監督・コーチ・保護者等の参加者連絡票を提出すること（氏名・連絡先）

※競技場・練習場の入出の場合は、必ず設置してあるアルコール消毒を徹底すること。

※トイレでの手洗いを徹底すること。

※ソーシャルディスタンスの確保。

審判について

※審判は全員マスクを着用すること。主審はコールをするのでマスクを外しフェースシールドを着用のこと。

※審判会議等の打合せは、十分な距離を取り、密にならないよう行う。

※手洗い・手指消毒の徹底。

選手・監督・コーチについて

※監督・コーチは必ずマスクを着用すること。

※監督・コーチは大きな声で指導しない事。（試合中は無言とする）

※選手はメンホーを着用以外は、マスクを着用すること。（メンホーの内側にシールドを貼ること）

※選手は試合用の安全具（メンホー、拳サポーター、ボディープロテクター、帯等の共有は認めない）。

※選手は組手競技中、接触・飛沫感染を配慮し、極力気合を出さないよう注意。

※選手監督・コーチは競技場・練習場以外は、裸足では歩かない事。（必ず履物を着用すること）

※大会を通じて、握手、ハイタッチ、ハグなどは行わない事。

※手洗い・手指消毒の徹底。

保護者（応援者）について

※2階の観客席から競技場には絶対降りないこと。

※選手練習場には入らないこと。

※必ずマスクを着用すること。

※大きな声を出さないこと。（拍手で対応）

※手洗い・手指消毒の徹底。